

参加者の声



講師との距離が至近で、なんでも気楽に質問ができて、受講生の皆さんも個性豊かで、熱心でとっても中身の深い充実した講座でした。



人権・ファシリテーターについて、頭だけでなく実際の演習で体験出来た事で改善点がつかめた。



人権・差別を真正面から向き合える。部落問題について正面から向きあうセミナーができたような気がしました。

【会場】



HRC ビル 大阪市港区波除 4-1-37

(最寄駅：JR 大阪環状線・大阪市営地下鉄「弁天町」)

JR 大阪環状線 弁天町駅北口より

徒歩 8 分 北東へ約 700m

地下鉄中央線 弁天町駅 4 番出口より

徒歩 10 分 北東へ約 850m

【申込方法】

【下記必要事項をご記入いただき、事務局へお申込ください】＊様式は自由

- | | |
|----------------------------|--|
| 1) お名前とご所属（団体名） | ■ ご記入いただいた個人情報は、講座運営上の目的以外には利用しません。 |
| 2) ご連絡先（住所、E-Mail、TEL、FAX） | ■ E-Mail でお申し込みの方は、件名に【RAAP 講座申込】とお書きください。 |
| 3) 参加申込みするきっかけとなった仕事や活動 | ■ 申込の確認後、E-Mail か FAX を基本に「受講確認通知」をお送りします。 |
| 4) 受講動機と講座で特に学びたいこと | |
| 5) これまでのファシリテーター経験 | |
| 6) その他（受講の際の要望など何でも） | |

【問い合わせ・申込先】

一般財団法人大阪府人権協会 RAAP 養成講座事務局

〒552-0001 大阪市港区波除 4-1-37HRC ビル 8 階

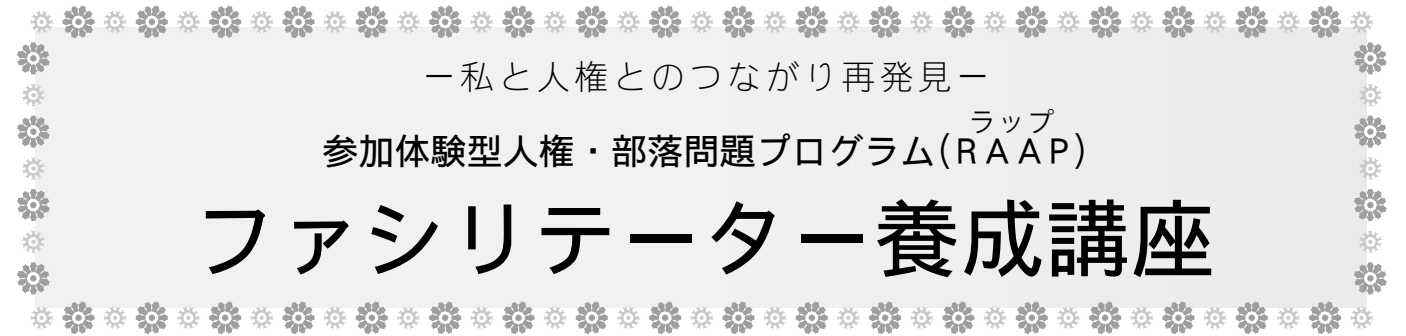
【TEL】06-6581-8613 【FAX】06-6581-8614

【E-Mail】info@jinken-osaka.jp

【URL】http://www.jinken-osaka.jp/

主催 一般財団法人大阪府人権協会

人権に関する啓発と相談・支援、その人材養成とネットワークづくりに取り組み、人権が尊重される豊かな社会の実現をめざしています。



「人権学習や研修がマンネリ…」

「問題だと思う発言が出るかも、と思うと不安」

「一方通行ではない学習の場で人権や部落問題を学びたい」

参加体験型学習では自分を見つめ、ほぐし、人権に関する問題を学びなおすことができます。

そうだ
RAAP を学ぼう



“差別はいけない”でも、“私は差別してない”でもなく、“差別はおかしい”という気持ちを行動に移せる人がたくさんいるときっと住み心地のよい社会になる。そんな学習や研修をつくりたい。その思いから R A A P プログラムは生まれました。

【日時】

2013年12月①14日・②15日

12月③21日・④22日

2014年 1月⑤11日・⑥12日

①③⑤土曜、②④⑥日曜 10時～17時

【内容】

①～④RAAPプログラム体験と理論学習

④～⑤ファシリテーター実習

⑥理論学習と実践に向けたブラッシュアップ

【定員】

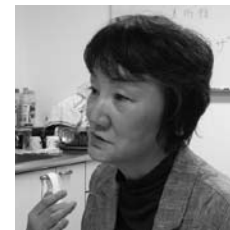
20 人程度（先着順）

講師



上杉孝實

(京都大学名誉教授)



大谷眞砂子

(じんけん楽習塾)



栗本敦子

(Facilitator's LABO)
(えふらぼ)

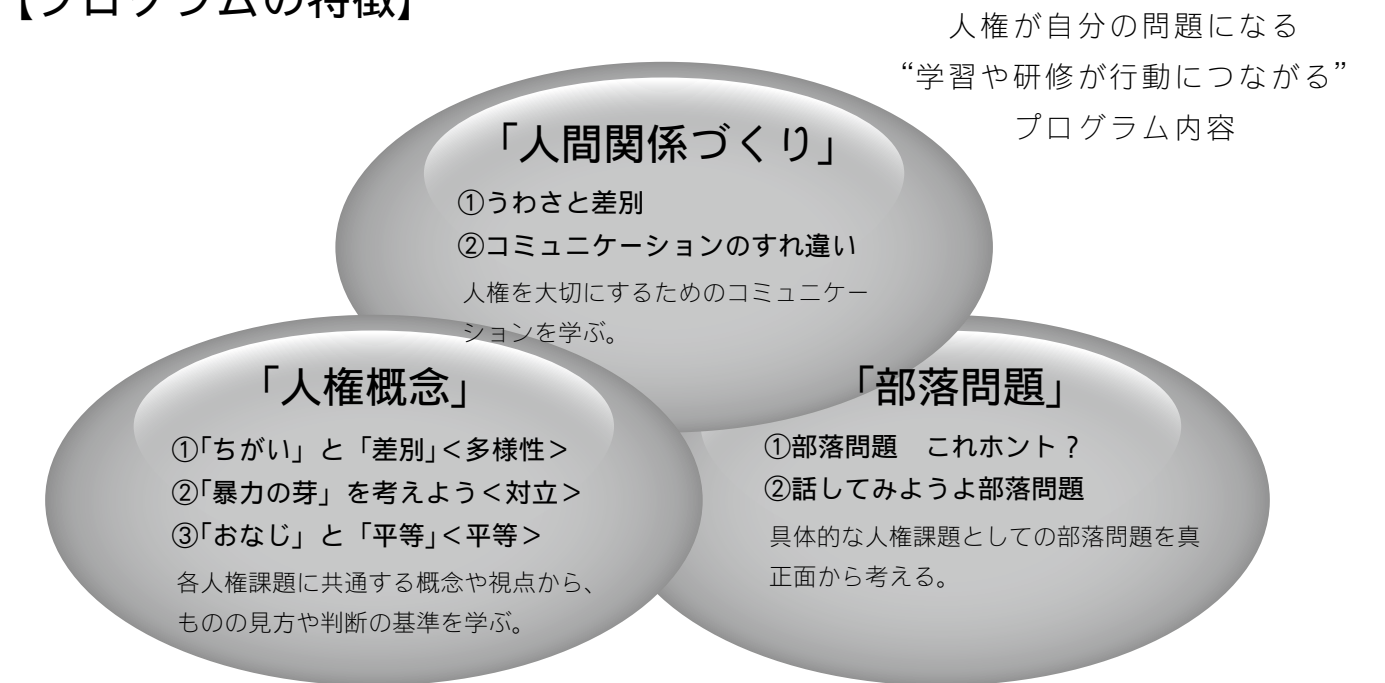


森実

(大阪教育大学)



【プログラムの特徴】



体験を通じて学び、行動に結びける参加体験型学習で人権と自分をつなぐ

➡ 「人間関係」「人権概念」「部落問題」の3つの柱で人権と自分とをつなぎます。
「学びから行動へ」人権に基づいた行動につなぎます。
メンタルヘルスやセクハラ、パワハラなどさまざまな人権学習にも応用。

【養成講座の日程と内容】 *時間は 10 時～17 時

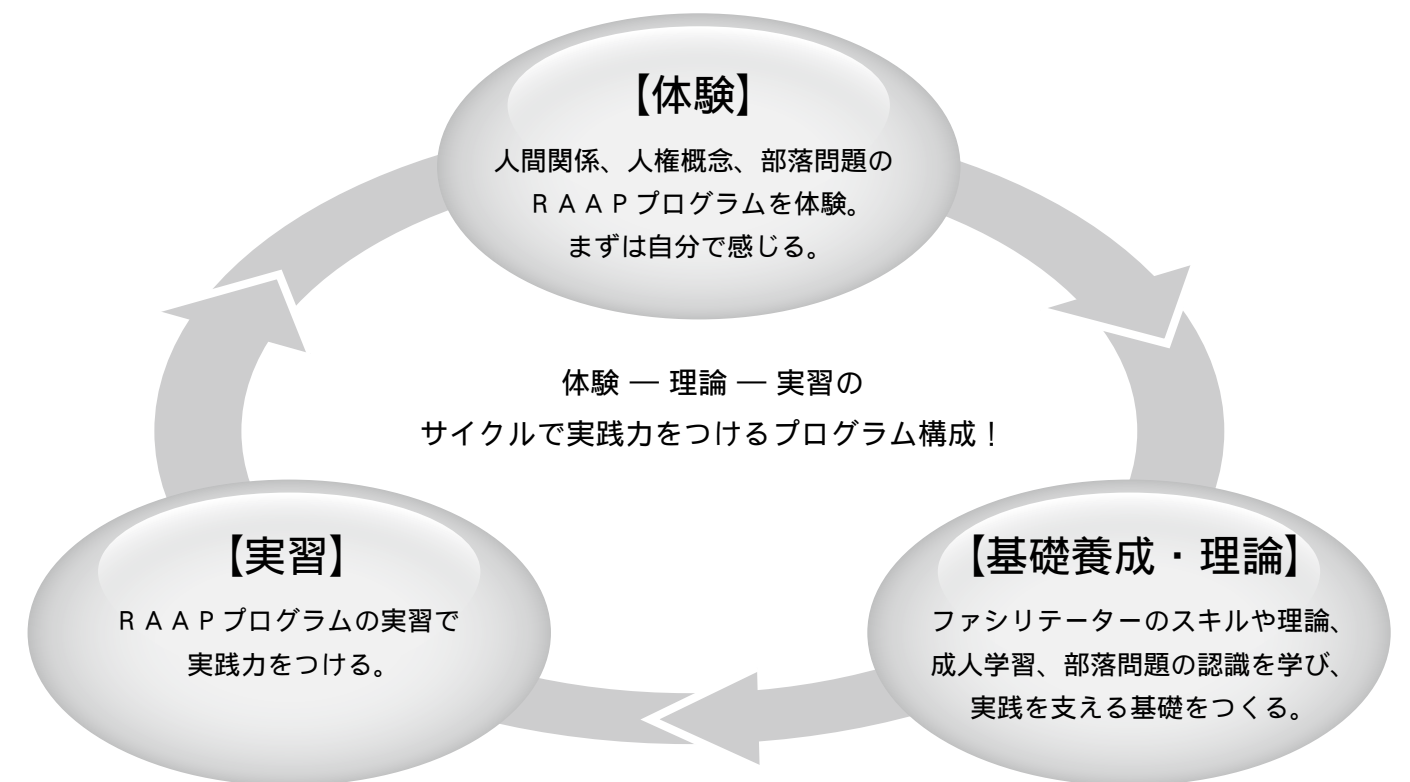
日 程	内 容	担 当 講 師 名
2013 年	オリエンテーション、ルールづくり	大谷真砂子さん
12 月 14 日（土）	【理論】成人学習とは	上杉孝實さん
	【体験】人間関係①「コミュニケーションのすれ違い」	大谷真砂子さん
12 月 15 日（日）	【体験】部落問題①「話してみようよ部落問題」	森実さん
	【体験】人間関係②「うわさと差別」	大谷真砂子さん
	【理論】ワークショップとは？ ファシリテーターとは？	森実さん
12 月 21 日（土）	【体験】部落問題②「部落問題 これホント？」	栗本敦子さん
	【理論】人権について深める① 「人権と社会構造、特権」	栗本敦子さん
	【理論】人権について深める②「感情」	大谷真砂子さん
12 月 22 日（日）	【理論】部落問題の認識	森実さん
	実習準備	栗本敦子さん、森実さん
	【実習】①部落問題	
2014 年	【実習】②～④プログラム・人権概念 「ちがい」と「差別」＜多様性＞ 「暴力の芽」を考えよう＜対立＞ 「おなじ」と「平等」＜平等＞	大谷真砂子さん
1 月 12 日（日）	人権ファシリテーターとは？	栗本敦子さん
	実践に向けて	上杉孝實さん、大谷真砂子さん 栗本敦子さん、森実さん

RAAP とは

Rights（権利）… 自分と人権・部落問題とのつながりを見つけ
Action（行動）… 職場や地域、学校などで、人権を守る行動に結びつく学習を
Active Learning（参加型学習）… 参加体験型学習で展開し、
Participation（参画）… 行動化を通じて社会に積極的に関わるなど、人権への取組みを進める

という学習をめざし開発されたプログラムです。
 人間関係、人権概念、部落問題のプログラムが実施できるファシリテーターの養成を行います。

【養成講座の特長】



共に学ぶネットワークづくりと実践につなげるサポート

- ☑ スキルアップ研修で、終了後も学べる場を提供。
- ☑ 経験交流を行い、実践の成功や失敗などの経験交流と、情報交換や相互アドバイスの場をつくります。
- ☑ 講師も共に実践に向けた課題解決を共有するなど、参加者と講師をネットワーキングします。
- ☑ 当協会の運営する「講師・ファシリテーターバンク」にご登録いただけます。当協会が受けた研修相談講師に、必要に応じてご紹介させていただくことができます。